

【注意喚起】道内で熱中症が多発しています！

R5.5北海道教育委員会

- 本道では初夏に当たる5月ですが、この時期としては暑い日が続いており、既に3件の熱中症（疑いを含む）事案が発生しています。
- この5月末から6月にかけて、学校では運動会や体育祭の時期を迎えますので、熱中症には特に注意が必要です。
- 熱中症は、適切な対策をとることによって、未然に防ぐことが可能です。水分補給や塩分補給、適度な休憩などの予防策を積極的に実践しましょう！

5月に発生した主な熱中症事案



体育祭の終了後に発生した事案

- 体育祭の閉会式で生徒1名が立ちくらみにより倒れ、病院に搬送後、熱中症の軽症と診断。
- 体育祭の終了後、教室に戻った際に生徒11名が体調不良を訴え、病院に搬送され、熱中症の中等症2名・軽症9名と診断。
- 当日の最高気温は26.8℃、湿度は38%であり、学校では体育祭開催中に2回休憩を取り、日よけのテントを設置していた。

大会参加後に発生した事案

- 陸上部の大会に参加した生徒1名が、帰校後に体調不良を訴え、保健室で静養した際に、手足のしびれなど、熱中症を疑う症状が見られたため、医療機関に緊急搬送。
- 当日の最高気温は27.3℃、湿度は52%だった。



この時期の熱中症を防ぐために

【学校の対応】

- 暑い日には、こまめに水分を補給し、運動する際には適宜休憩を取るよう計画しましょう。特に、喉が渇いていなくても、こまめに水分補給を行うよう指導しましょう。
- 体育授業や学校行事、部活動等の実施前後において、児童生徒の体調を把握し、体調が優れない場合は参加を控えるなど、必要な対策を講じましょう。
- 児童生徒の体調が悪くなった場合には運動を中止して、必要な処置を取りましょう。
- 熱中症を疑う症状がある場合は、直ちに応急措置を行い、救急車を要請するなど、必要な対応を迅速に行いましょう。

【ご家庭へのお願い】

- 日頃から、十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事など、規則正しい生活習慣を実践しましょう。
- 具合が悪くなった場合には、躊躇せず、教員に申し出るよう伝えてください。

